

試験自動車の諸元表

試験依頼者名	試験自動車製作者の名称
--------	-------------

※以下の項目は試験実施の際に使用する数値であり、試験実施後は、変更・訂正は出来ない場合がありますので、十分確認のうえ記入してください。

1. 試験自動車諸元表

車名・型式		製造・通関年月日 ^注								
車台番号 (シリアル番号)		車両カテゴリ								
自動車通関証明書証明番号		通称名								
原動機	型式	全長 (m)								
	総排気量 (L)	全幅 (m)								
	気筒配列・気筒数	全高 (m)								
	作動方式	乗車定員 (人)								
	過給器の有無* (個数)	有 (個) ・ 無	最高速度 (km/h)							
	最高出力 (kW/rpm)	触媒の有無*		有・無 有 (消音器内蔵式)						
	最大トルク (N・m/rpm)									
	使用燃料	最終減速比								
変速機	種類*	手動 ・ 自動 ・ その他 ()								
	形式*	機械式 ・ 油圧式 ・ 電気式 ・ その他 ()								
	段数*	段 ・ 無段	変速比の固定	可 ・ 不可						
変速機 ギヤ比	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速	9速	10速
駆動方式										
車両に搭載されているすべての走行モード等										
上記モードの内, 出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力 (kW)										
		合計 (kg)			前軸 (kg)			後軸 (kg)		
車両の空車質量 (kg) ^{注2}										
最大許容総質量 (kg) ^{注3}										
目標の車両重量 (kg) ^{注4}										
パワーマスレシオ (PMR) ^{注5}										
タイヤサイズ (空気圧) (kPa)		前輪		() kPa						
				() kPa						
		後輪		() kPa						
				() kPa						
備考										

- 注 1. 製造年月日の特定ができるものはその日付を、それ以外の場合は通関年月日を記入してください。
2. 灯火器, 油脂類, ツールキット等を含み, 燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態。
3. 「車両の空車質量 (kg)」に, 1名55kgとして乗車定員分の重量を加算した値。
4. 「車両の空車質量 (kg)」に75kgを加算した値。
5. $PMR = (\text{原動機最高出力} / \text{目標の車両重量}) \times 1000$
6. *の欄は該当しない区分を消去して、該当する区分のみを記入してください。過給器の有無が「有」の場合は過給器の個数を、変速機の段数が「無段」以外の場合は段数を数値で記入して下さい。
7. 該当しない項目には「/」を記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号：	
--------	-------	--

2. 騒音防止対策装置

種類	消音器 () 個	() 個	() 個
製作者			
内蔵式触媒の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

注1. 騒音防止対策が試験自動車の自動車メーカーで実施されている場合は、製作者欄に「メーカー純正」と記入して下さい。

2. 上記1以外の場合は、製作者の名称を記入して下さい。装着がない場合は「×」を記入して下さい。

3. 車台番号 (シリアル番号) の拓本貼付欄 (車台番号 (シリアル番号) の打刻様式の説明は別紙に記入)

--

注) シリアル番号の場合は「シリアル番号」と記入し () で囲んで下さい。

当該打刻されている番号 (記号、符号を含む) のすべてを記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号:	
--------	-------	--

車台番号 (シリアル番号, VIN) の打刻様式の説明記入シート

車名・型式	
-------	--

1. VIN打刻様式の説明記入欄

VIN POs. (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17)

VIN

VIN POs.	打刻様式の説明	打刻記号の説明

2. シリアル番号 (VINを除く) 打刻様式の説明記入欄

--

第2号様式 試験自動車の諸元表 (協定規則第51号)Excel版の記入方法等

1.試験自動車の諸元表

車両カテゴリ		カテゴリM(乗用車・バス) M1:乗車定員9名以下 M2:乗車定員10名以上, 最大許容総質量5トン以下 M3:乗車定員10名以上, 最大許容総質量5トン超 カテゴリN(貨物) N1:最大許容総質量3.5トン以下 N2:最大許容総質量3.5トン超から12トン以下 N3:最大許容総質量12トン超
原動機	気筒配列・気筒数	単気筒、並列4気筒、V型6気筒、水平対向4気筒、並列2気筒等の別を記入
	作動方式	2サイクル、4サイクル、ロータリー等の別を記入
	最高出力(kW/rpm)	最高出力の表示が「kW」以外の場合は、単位換算し記入
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン、無鉛プレミアムガソリン、軽油等の別を記入
触媒の有無		有、有(消音器内蔵式)、無の別を記入
最高速度(km/h)		原則として走行性能曲線図から求めた速度を記入
減速比		1次、2次を有する場合には、それぞれを記入
変速比の固定		走行中に変速比を固定できる機構を持つ場合(例:MT車両,マニュアルモード付CVT車両)は可 その他の場合は不可
変速機	種類	手動 : 動力伝達系統にトルクコンバータを有さず、かつ、変速段の切換えを手動でのみ行う変速機 自動 : 変速段の切換えが自動的に行なわれる変速機
	形式	機械式・油圧式・電気式・その他
変速機ギヤ比		ギヤ比が固定されず連続して変化する場合(CVT等)は1速の欄に ○.○○○~□.□□□ と記入
減速比		1次、2次を有する場合には、それぞれを記入
変速比の固定		走行中に変速比を固定できる機構を持つ場合(例:MT車両,マニュアルモード付CVT車両)は可 その他の場合は不可
駆動方式		前輪駆動、後輪駆動、全輪駆動の別を記入
車両に搭載されているすべての走行モード等		エンジン出力特性,変速特性等が変化するモード
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力(kW)		上記の走行モードの内、そのモードにおける最高出力が、「原動機最高出力」と異なるモードとその出力
車両の空車質量(kg)		灯火器,油脂類,ツールキット等を含み,燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態で計測した値を記入
最大許容総質量(kg)		車両の空車質量+55kg×乗車定員

<p>目標の車両重量(kg)</p>	<p>カテゴリM(乗用車・バス) 目標の車両重量=車両の空車質量+75kg</p> <p>カテゴリN(貨物) N1: 目標の車両重量=車両の空車質量+75kg N2, N3: 目標の車両重量=50×最高出力(kW)kg</p>
<p>パワーマスレシオ (PMR)</p>	<p>$PMR = (\text{原動機最高出力} / \text{目標の車両重量}) \times 1000$</p>
<p>タイヤサイズ (空気圧) (kPa)</p>	<p>タイヤサイズおよび最大許容総質量時の指定空気圧を記入</p>

試験自動車の諸元表

試験依頼者名	株式会社日本自動車 筑波太郎	試験自動車製作者の名称	アメリカ自動車株式会社
--------	----------------	-------------	-------------

※以下の項目は試験実施の際に使用する数値であり、試験実施後は、変更・訂正は出来ない場合がありますので、十分確認のうえ記入してください。

1. 試験自動車諸元表

車名・型式		アメリカ・AAA-111		製造・通関年月日 ^注		20XX.1.1				
車台番号 (シリアル番号)		AAA000111222		車両カテゴリ		M3				
自動車通関証明書証明番号		税関証明〇〇〇〇号		通称名		マーベリック				
原動機	型式	AAA		全長(m)		7.000				
	総排気量 (L)	4.000		全幅(m)		2.000				
	気筒配列・気筒数	直列4気筒		全高(m)		2.500				
	作動方式	4サイクル		乗車定員 (人)		6人				
	過給器の有無* (個数)	有 (1 個)		最高速度 (km/h)		140				
	最高出力 (kW/rpm)	120/2500		触媒の有無*		有(消音器内蔵式)				
	最大トルク (N・m/rpm)	400/1500								
	使用燃料	軽油		最終減速比		4.000				
変速機	種類*	手動								
	形式*	MT								
	段数*	6 段			変速比の固定		可			
変速機 ギヤ比	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速	9速	10速
	3.000	2.000	1.500	1.000	0.800	0.600				
駆動方式		前輪駆動								
車両に搭載されているすべての走行モード等		Aモード,Bモード,Cモード								
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力(kW)		Cモード(100kW/2500rpm)								
		合計 (kg)		前軸 (kg)		後軸 (kg)				
車両の空車質量(kg) ^{注2}		3500		2000		1500				
最大許容総質量(kg) ^{注3}		6000		3000		3000				
目標の車両重量(kg) ^{注4}		3575								
パワーマスレシオ (PMR) ^{注5}		33.6								
タイヤサイズ (空気圧) (kPa)		前輪		215/70R17.5		(350) kPa				
				215/70R17.5		(350) kPa				
		後輪		215/70R17.5		(350) kPa				
				215/70R17.5		(350) kPa				
備考										

- 注 1. 製造年月日の特定ができるものはその日付を、それ以外の場合は通関年月日を記入してください。
2. 灯火器、油脂類、ツールキット等を含み、燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態。
3. 「車両の空車質量(kg)」に、1名55kgとして乗車定員分の重量を加算した値。
4. 「車両の空車質量(kg)」に75kgを加算した値。
5. PMR= (原動機最高出力/目標の車両重量) ×1000
6. *の欄は該当しない区分を消去して、該当する区分のみを記入してください。過給器の有無が「有」の場合は過給器の個数を、変速機の段数が「無段」以外の場合は段数を数値で記入して下さい。
7. 該当しない項目には「/」を記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号：	
--------	-------	--

2. 騒音防止対策装置

種類	消音器 () 個	() 個	() 個
製作者			
内蔵式触媒の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

注1. 騒音防止対策が試験自動車の自動車メーカーで実施されている場合は、製作者欄に「メーカー純正」と記入して下さい。

2. 上記1以外の場合は、製作者の名称を記入して下さい。装着がない場合は「×」を記入して下さい。

3. 車台番号 (シリアル番号) の拓本貼付欄 (車台番号 (シリアル番号) の打刻様式の説明は別紙に記入)

--

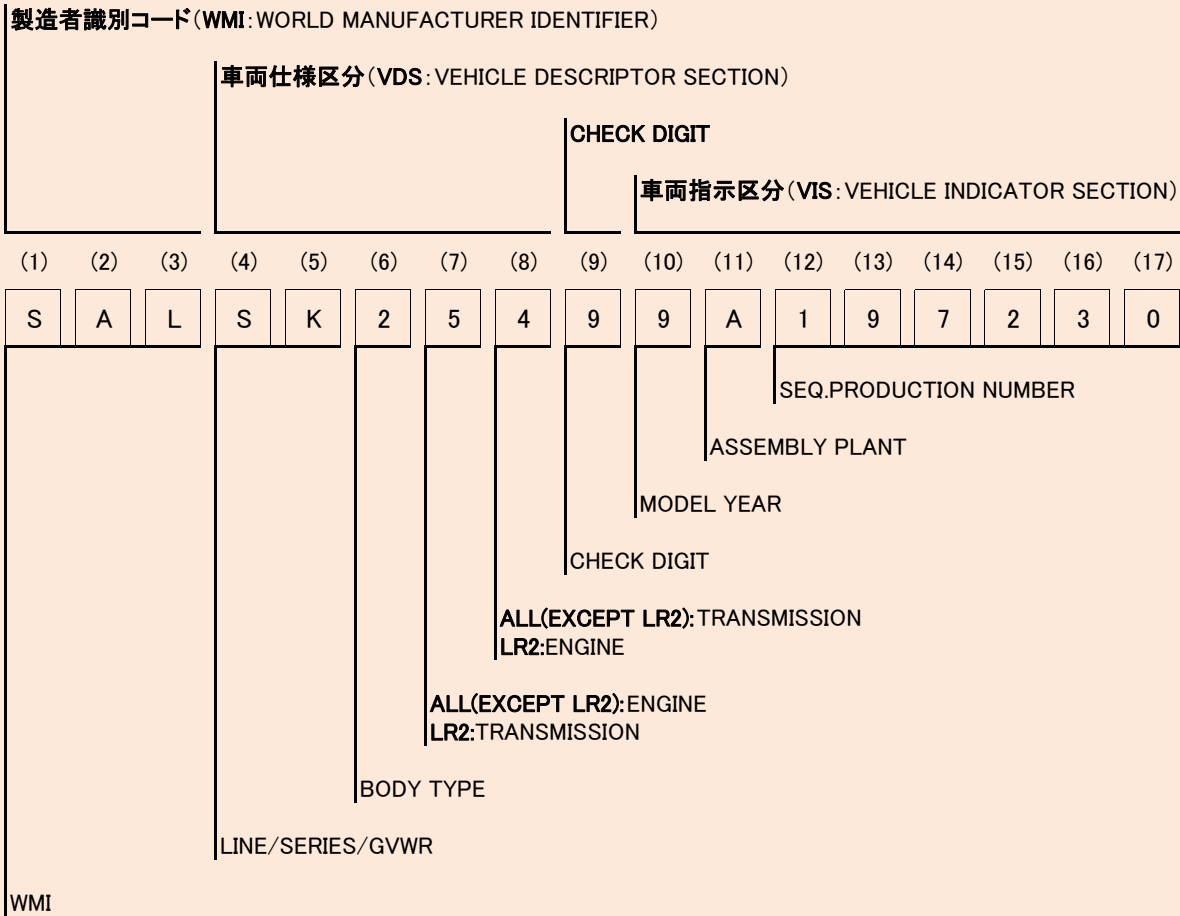
注) シリアル番号の場合は「シリアル番号」と記入し () で囲んで下さい。

当該打刻されている番号 (記号、符号を含む) のすべてを記入して下さい。

記入例

研究所使用欄	受付番号：	
--------	-------	--

車台番号（シリアル番号，VIN）の打刻様式の説明記入シート



車名・型式	アメリカ・AAA-111
-------	--------------

VIN POs.	打刻様式の説明	打刻記号の説明
(1)(2)(3)	WMI	SAL = United Kingdom Land Rover MPV
(4)(5)	LINE/SERIES/GVWR	SK = Range Rover/Sports Lux/ClassE
(6)	BODY TYPE	2 = 4Dr(Range Rover Sports)
(7)	ENGINE	5 = 4.4L V8
(8)	TRANSMISSION	4 = 6 Spd Auto
(9)	CHECK DIGIT	9
(10)	MODEL YEAR	9 = 2009
(11)	ASSEMBLY PLANT	A = Soliful,England
(12)~(17)	SEQ.PRODUCTION NUMBER	197230